

2026年6月22日

株式会社ジャノメ

取締役会の実効性評価について

当社は、コーポレートガバナンスの実効性を高めるため、取締役会の実効性に関する評価を2015年度より毎年実施しております。その結果、昨年に引き続き取締役会の実効性は全体として十分に確保していることを確認いたしました。

1. 取締役会の実効性評価方法の概要

監査等委員である取締役を含む取締役全員を対象に、外部機関のサポートを受け2026年4月に「取締役会自己評価アンケート」を実施しました。外部機関による集計結果に基づき、当社顧問弁護士が評価を行いました。

アンケートの主な構成は以下の通りです。

- 1) 取締役会の構成
- 2) 取締役会の運営
- 3) 取締役会の役割・責務
- 4) 取締役会を支える体制
- 5) その他

2. 取締役会の実効性評価結果の概要

取締役会の実効性は、長期的に着実に向上してきたと評価されました。

特に以下の点において高水準であると評価されました。

- 1) 開催頻度、審議時間、議長の議事運営、自由闊達な議論
- 2) 株主・投資家との対話の取締役会へのフィードバック
- 3) 社外役員の意見の経営への反映
- 4) 監査等委員会による監査・監督機能

一方で、実効性向上に向けた改善の余地として、以下の点が挙げられました。

- 1) 「事業ポートフォリオ×資本コスト×サステナビリティ」についての、より深化した定期的な議論

2) 取締役会資料を事前に検討するための時間確保

2. 今後の対応

当社取締役会としては、今回の評価・分析を踏まえ、取締役会の実効性のさらなる向上に努め、より充実したコーポレートガバナンス体制の構築と企業価値の向上を目指してまいります。

(今後の主な取組み)

- 1) 事業ポートフォリオ、資本コスト、サステナビリティなど中長期的な視点での議論の充実・深化。
- 2) 事務局における資料収集・作成の効率化をすすめ、事前検討時間の確保に努める。

以上